



平成22年11月4日

各 位

上場会社名 タカタ株式会社
 代表者 代表取締役社長 高田 重久
 (コード番号 7312)
 問合せ先責任者 執行役員経営管理部長 野村 洋一郎
 (TEL 03-3582-9228)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月4日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	370,000	20,000	19,000	12,400	149.11
今回発表予想(B)	370,000	25,000	24,500	17,000	204.42
増減額(B-A)	—	5,000	5,500	4,600	
増減率(%)	—	25.0	29.0	37.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	350,914	14,654	15,672	6,942	84.62

修正の理由

当上半期は米国での自動車生産台数が前年同期比4割以上回復したことに加え、日本のエコカー補助金制度による需要増加、アジアの新興国や欧州での好調な販売を背景に、当社の販売も好調に推移し、予想を上回る業績を達成しました。当下半期につきましては、新興国では引き続き好調に推移することが見込まれますが、日本ではエコカー補助金制度打ち切りや、急激な円高に伴う影響が懸念され、さらに欧米でも先行きには必ずしも楽観は出来ない状況が予想されます。

このような状況下、先行きの不透明感や円高などを総合的に勘案し、売上高は期首予想通り3,700億円を据え置くことに致します。一方、利益面では上半期の増益に加え、下半期も継続的な原価低減、固定費削減を推進することにより、営業利益250億円を予想します。これに伴い経常利益および当期純利益については各々245億円、170億円となる見込です。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年8月4日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	15.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	5.00	—	15.00	20.00

修正の理由

前回公表時には、市場の先行きに不透明感が強かったこともあり、当期業績予想が難しかったことから配当予想を未定としましたが、上半期業績が前年同期比で増益となったことから、中間配当金を15円と致しました。尚、期末配当金につきましては下半期業績の推移を見極めた上で適切な時期に決定する予定です。

なお中間配当の実施およびその詳細については、11月下旬開催予定の取締役会の決議をもって確定する予定であります。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上